

かけはし

44期生 No. 20
2023年12月5日(火)

11月13日(月)の5・6限に豊中市立病院の吉川医師に講師として来ていただき、「癌について」というテーマでお話をしていただきました。誰もが一度は耳にしたことがある「癌」について私たちが今まで知らなかったことなど詳しくお話をしていただきました。皆さんの感想を一部紹介します。



・がんについては身近でなったことのある人は知らないけれど、保健の授業や今回の講演会を通してたくさんのことを学びました。がんについては正直、最初はものすごく怖くて治らない病気、自分は大丈夫だと思っていました。けれど、がんは誰にでもなる可能性はあるが、早期発見などで治るものだと理解しました。生活習慣について自分は今、親に食事などを管理してもらっているけれど将来、一人暮らしをした時に毎日健康でいれるような食生活や運動などを行って癌にならないようにしていきたいです。

・今回の講演会を通して、癌が一番怖い病気だけど一番身近な病気だと思った。理由は今まで癌というものは自分とは無関係だ感じていたから。今日、癌についていろいろ説明してもらい、自分もなる可能性が高いと思った。考えたこととして、家に子宮頸がんのワクチンの手紙が届いていたり、人間ドッグなどの検査があるということは癌は危険だと表していると思うので日頃の生活習慣を改善していくべきだと感じた。

・今日の講演で印象に残ったことが2つあります。1つ目は「若い人でも癌になる可能性は十分にあり、症状は初期ではないが自分が癌になっているかは分からないため、癌検診を受けることが大切である」ということです。20代、30代でもがんになるリスクはあり、自覚症状もでにくいので、日頃から検診を受けて早期に発見することで生存率も高まるのだと分かりました。2つ目は「治療法は様々」ということです。入院し、手術でがんをとる方法は勿論のこと、抗がん剤の投与やX線治療など様々な方法で癌の治療を受けやすくなっているのだと思います。今後、自分の周りの人が癌や他の病気になった時はしっかり支え、自分も日々検診を受けること、もし自分になっても治療を頑張ることを大切にしようと思いました。

・がんについて初めて知ったことは自分が思っていた以上に癌にはたくさんの種類があって種類によってすぐ治るものもあれば、治すのに時間がかかることです。2人に1人が癌になるリスクがあり、誰でもなる可能性がある、他人ごとではダメだと思いました。癌になったとしても治療法が3つもあり、手術や放射線、薬物で治せることを知り、少し安心しました。もし自分になってもネガティブになりすぎない方がいいと思いました。

・私は癌は一度なると治らない病気だと最初は思っていたのでとても怖い病気だと感じていました。でも症状がほとんど出ていない時に検査などを受けて見つかったとしても治療をしたらほとんど治って、元の生活に戻れる可能性が高いと知って、安心しました。癌検診が早期発見にすぐ重要になってくることを知って、大人になったら気を付けようと思いました。骨肉腫などの骨や筋肉にできる癌は10代の人になりやすいと知って、とても驚きました。癌になって治すための治療法は手術しかないと思っていましたが医療の技術が進歩していて、痛みを軽減する治療法などもあって、安心できるなと感じました。

・がんは見つけやすい大きさになるまで10~20年かかると知り、10代・20代の人はまだ早期発見が難しいと思った。1~4段階、癌の重度があって1は95%の人が治ると知ったし、2人に1人が癌になる世の中だから検診に行くのが得だと分かった。普段の食生活、運動、睡眠など生活習慣を良くしたり、病原体にかからないように清潔さを保てばかかりにくくなると知った。でもなぜ生活習慣が悪い人が身の回りにいるのかも疑問に思った。現在は手術の方法などが改善されたり、様々な専門の人が支えてくれて検診や医療が受けやすくなっている。このような仕組みを作ってくれた人に応えるために検診に行こうと思う。

・保健の授業でがんや生活習慣病など学んでいた内容もあったので理解しやすかった。初めて知った内容としては癌は肺や大腸だけではなく体の至る所であるということ。また骨や筋肉に癌ができたときは骨癌、筋肉癌というのではなく、骨肉腫ということを知った。もし、自分ががんになっても「ああ、もう終わった…」って思わないようにみんなが助けてくれるから強い意志を持とうと思った。

・最初、癌は怖くて悪い病気という印象がありました。ですが、今では放射線治療などの体への負担が少し少なくなった治療方法もあるということが分かりました。癌にかかれば大半は亡くなってしまうのではないかと感じていたけど、健康診断などでの早期発見で手術しなくても済むという場合もあると分かりました。今後、大人になって健康診断やがん検診を積極的に受けたり、癌対策をするのが一人一人ができる大切なことだと思いました。

裏もあります。

・自分の周りで癌になったりした人は余りいないから分からなかったけれど、今回の話を聞いて、癌は誰でもなることがある恐ろしい病気だと気づかされました。10代など今の自分たちの年齢では癌になる確率はほぼないと言っていたけれど、自分たちの世代にもなる骨肉腫などのなるかもしれない癌はあるので「自分は大丈夫。癌にはならない」と思うのではなく、生活習慣などから気をつけていかないとダメだなと分かりました。もし自分や周りの人が癌にかかったのであれば他人事のように考えるのではなく、みんなで協力して支えてあげれば良いと思いました。

・今まで癌はコロナウイルスやインフルエンザなどのような外から体の中に入ってくるものだと思っていたけど実際はもともと自分の体の細胞が分かれる時に変異したものだとして驚いた。癌と言われたら高齢者ばかりがなるものだと思っていたけど自分のような中学生でも普通に癌になることを知ってとても怖いと思ったけど、それを怖がるのだったらまず自分の今の生活を見直して癌にかからないためには自分は何をどう変えるのか考えて、少しずつ行動していくことが大切だと思った。

・今回の講演で中学生の私たちや大人の人、年齢が違って生活習慣がしっかりできていないと誰でも癌になるリスクがあることを改めて知りました。それぞれたくさんの種類の癌があり、その癌の予防法や治療法はさまざまで癌のレベルにもよることを知りました。どんな癌でも保健の授業で学んだ通り、早期の発見、早期の治療が大切だと思います。また、治療して癌が治ったと思ってても他のところへ転移するのが癌の怖いところだと思います。私が大人になった正しい生活習慣をも身につけたいです。そして、過剰な飲酒、たばこはなるべく避けていきたいと思っています。

・癌は怖い病気ではなく、治療すれば誰でも普通の生活に戻れる病気であることや初期段階の癌は早く治療すれば、不安なく生活ができるようになることを初めて知った。癌にかかってしまっただけを諦めるようなことをするよりは自分の家族や友だちが癌に対する正しい知識を身につけておくことが大切だなと考えることが出来ました。

・癌は思っているよりもずっと身近な病気なんだなと思いました。自分はならないだろうと思っても、なる可能性は十分にあったので癌にならないためにできることをちゃんとやっていきたいなと思いました。まずは生活習慣の改善からやっていこうと思います。がんになると体の面や心の面で大変になると思うので、もし身近な人が癌になったら支えてあげられるようにしたいなと感じました。

・今まで思っていた癌のイメージと変わりました。今までのイメージは癌になったら治らない・怖いというイメージでしたが、今では頑張って癌と向き合って治療をすれば怖いものではないと分かりました。自分が検診をしなくてはいけない頃が来たら怖がらず、癌と向き合いたいと思います。

・癌の治療法が日々、進化していると聞いてとても安心しました。理由は自分が癌になった時に治療ができるのはもちろん、今まさに癌と戦っている人の生存率も上がるかもしれないからです。そして、今日の講演会で癌になってしまった人がいたら助けたり、応援したりすることが大切なんだと学ぶことが出来ました。これからは身近な人が癌になっても寄り添ってあげようと思いました。

